

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所
【現地駐在】TTB銀行(タイ・バンコク)、HD銀行(ベトナム・ホーチミン)、
明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス(ベトナム・ホーチミン)



【香港駐在員事務所】

電気自動車の普及状況について

1. はじめに

香港では1年を通じて食品、酒類、美容・健康、ジュエリー、旅行等さまざまな展示会が開催されています。

新型コロナウイルスの発生により昨年までは中止や延期、規模の縮小を余儀なくされていましたが、ようやく今年に入り本格的に再開し、以前のような活気を取り戻しています。

6月15日～18日には「第37回 INTERNATIONAL TRAVEL EXPO HONG KONG (香港国際旅遊展)」が開催されました。34の国・地域から500を超える団体が出展し、多くの来場者で賑わい、観光需要が着実に回復していることを実感しました。

その一方で、コロナ禍で人員整理をした航空業界は人手不足に悩まされています。

先日香港政府は人手不足が深刻な建設業、運輸業について域外から約20,000人の労働者を受け入れ、そのうち6,300人を航空業(グランドスタッフ、航空機牽引車運転手、倉庫オペレーターなど10職種の現場スタッフが対象)に割り当てると発表しました。

香港国際空港の旅客数は今年4月までにコロナ前の50%を回復しました。2023年末には80%、2024年末にはコロナ前の水準を回復すると予測されており、航空業界では現在から2024年末までに16,000人が不足すると見込まれています。今回の域外からの受け入れだけではカバーできず、今後も待遇の改善等人材確保のための対策が求められています。

今回はカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みの一つである電気自動車(以下、EV車)の普及状況についてご紹介いたします。



展示会場入口の様子【筆者撮影】



展示会場内の様子【筆者撮影】

2. EV車の普及に向けたロードマップ

2020年11月の施政報告で2050年までに二酸化炭素等の温室効果ガスの排出を実質ゼロにする取り組みが発表されたことを受け、2021年3月香港政府環境局（現：環境及生態局）はEV車の普及に向けたロードマップを公表しました。

ロードマップは、グリーン・脱炭素化に向けたイノベーション、自家用EV車、商用EV車、充電施設、保守・修理、電池回収の6項目で構成されています。2050年までに全ての自動車の排ガスをゼロにする目標に向けて、2025年を目途に公共交通機関へのEV車の試験導入を積極的に進めつつ、具体的な実施の方向性やスケジュールを策定するとしています。また、20億香港ドル（約360億円）以上を投入し、民間商業施設・住宅に150,000カ所、公共施設に5,000カ所の充電施設の増設を進めています。更に2035年までに化石燃料車・ハイブリッド車の自家用車新規登録を停止することを目指しています。

重点施策として、以下の①～③が挙げられています。

- ①自家用EV車：初回の登録税・車両登録費用の優遇措置、公共駐車場での無料充電
- ②商用EV車：初回の登録税・法人税の免除、新エネルギー運輸基金からの補助金交付
- ③充電施設：民間・公共住宅や駐車場への充電施設の建設促進・補助

3. 自家用車の登録状況

下表の通り、自家用車のEV車比率は年々上昇しています。

EV車新規登録台数：2018年 471台（構成比1.1%）→2022年19,795台（同52.8%）

EV車総登録台数：2018年11,080台（構成比1.8%）→2022年46,565台（同7.2%）

2022年にEV車の新規登録台数が初めてガソリン車を上回りました。今年に入ってから順調に増加しており、4月末時点で新規登録台数8,085台（構成比62.4%）、総登録台数54,598台（同8.4%）となっています。

優遇措置や充電施設の整備等により普及が進んでおり、今後商用車（バス、タクシー、トラック等）への導入が進むことでEV車比率の向上に弾みがつきそうです。

【自家用車の登録状況】

年	自家用車							
	ガソリン車		電気自動車 (EV車)		ディーゼル車他		合計	
	新規登録 台数	総登録 台数	新規登録 台数	総登録 台数	新規登録 台数	総登録 台数	新規登録 台数	総登録 台数
2018	41,551	594,526	471	11,080	265	12,077	42,287	617,683
2019	35,858	602,708	2,423	13,447	28	12,075	38,309	628,230
2020	32,441	621,288	4,595	17,998	-	12,072	37,036	651,358
2021	29,724	617,599	9,583	27,358	2	12,016	39,309	656,973
2022	17,683	591,012	19,795	46,565	-	11,963	37,478	649,540
2023(※)	4,877	584,509	8,085	54,598	-	11,949	12,962	651,056

※2023年は4月末時点

出典：香港政府運輸署統計数字を基に筆者作成



街中を走る EV 車【筆者撮影】



充電中の EV 車【筆者撮影】

4. おわりに

最近香港人の知人に、「今のうちに日本の魚介類を食べておかないとこれから食べられなくなるかもしれない」と言われました。一瞬耳を疑いましたが理由を聞くと、6月に福島第一原子力発電所の港湾内でセシウム濃度の高い魚が見つかったことが原因でした。

香港でも連日報道されており、親日家の多い香港人からも心配の声が上がっています。香港政府も ALPS 処理水が海洋放出されれば福島県沿岸一帯の水産物の禁輸とリスクの考えられる地域の水産物の輸入規制を行う考えを明らかにしました。また、日本から水産物を輸入しているバイヤーからも、消費者が安心して購入できるよう日本企業に海洋放出前後の放射性物質検査証明書の提出を求め、数値に問題ないことを確認したいという話が出ています。

2022 年の日本からの農林水産物・食品の国・地域別の輸出額で香港は 2 位（金額 2,086 億円、構成比 15.6%）と大きなウエイトを占めていることから、規制が強化された場合の輸出への影響が懸念されており、今後の動向に注目が集まっています。

山口フィナンシャルグループでは海外への事業展開にご興味があるお客様のサポートを行っていますので、お気軽にお取引店または営業戦略部法人事業室海外事業グループまでお問い合わせください。

（山口銀行香港駐在員事務所 山根 元博）

【参考文献】

- The Daily NNA 香港&華南版
放出なら水産物禁輸、福島原発処理水問題（2023 年 6 月 12 日）
- The Daily NNA 香港&華南版
域外労働者 2 万人を受け入れ 運輸・建設業に、本土から通勤も（2023 年 6 月 14 日）
- 時事速報 香港版
福島沿岸の水産品、禁輸も＝原発処理水放出に懸念（2023 年 6 月 12 日）
- 日本貿易振興機構（JETRO）
香港政府、EV 普及ロードマップを公表（2021 年 3 月 26 日）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/03/e708a615a954a24a.html>

-
- ・農林水産省 農林水産物・食品の輸出に関する統計情報

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_info/zisseki.html

- ・香港政府運輸署統計数字

https://www.td.gov.hk/tc/transport_in_hong_kong/transport_figures/index.html

- ・香港政府環境保護署

https://www.epd.gov.hk/epd/tc_chi/top.html